

VDB AUDIO - Finger Control Surface (補足資料)

2026/8/6

2 台の FCS8 を接続

USB ハブを使って 2 台の FCS8 を Sound Devices 8-Series に接続して [1-8] + [9-16] を運用できます。USB ハブのポートに序列があるので、並べた FCS8 と異なる順列になった場合は USB ハブのポートを入れ替えてください。

FCS12 と他の FCS8(12)と混在

8-Series は 8ch ブロック通信制限があるため、FCS12 を含めて複数台で構成させると欠番チャンネルが発生します。混在構成は、FCS8 + FCS12 の組合せだけをお勧めします。この場合、[Ch 1-8] + [Ch 9-20] を運用できます。USB ハブへの接続序列が逆だと、[Ch 1-12] (13,14,15,16 欠番)+ [17-24] が現れます。

Scorpio の Fader 32ch 操作

32ch すべてを FCS スライダーに一度に割り当てる場合は、4 台の FCS8 を御用意ください。

1 台の FCS8 でバンク操作

FCS8 のトグルスイッチ[A,B,C,D] にマッピングすることで、コマンド操作(※)によりバンク移動することができます。例えば、[Ch 1-8] の状態から、[B] 操作で [Ch 9-16]が、もう一度 [B] 操作で [Ch 17-24] が現れます。そこから、[A] 操作で [Ch 9-16] に、もう一度 [A] 操作で [Ch-1-8] に戻ることができます。

※コマンド・マッピング例
[A] Fader Bank Left
[B] Fader Bank Right.

注意) 複数台の FCS コントローラーが接続された (Spill (デフォルト) 設定の) 8-Series では、Fader Bank コマンドが無効となり利用できません。

複数 FCS 運用での断線

8-Series はコントローラー1 台運用が設計基準で、USB ケーブルが抜けても USB ケーブルを再接続するまでバースタルなフェーダー位置を保持します。しかし複数コントローラーではそれが期待できないケースがあります。予期せず USB ケーブルが抜けた場合などコントローラーが認識されない場合は、8-Series の電源を切って USB ケーブルを正しく挿して再起動してください。

マッピング・データの保存

FCS のトグルスイッチなどへマッピングした情報は、8-Series のミキサー全体の User Setting ファイルに含まれて保存されます。マッピング・データだけを保存することもできますが、ロードする前に必ず mapping 画面にコマンド (ダミーでかまいません) を登録してください。(mapping 画面にコマンドが無登録状態でロードすると 8-Series がフリーズします。)

以上。